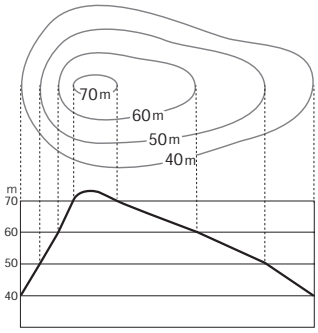
## 社 会

### 1 地図の読み取り・ごみの処理

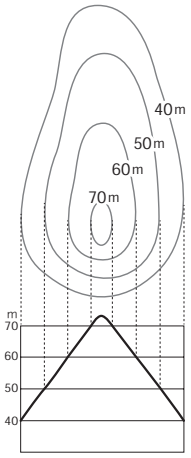
〈解答〉(1) イ☆☆
(2) エ☆☆
(3)① 減っている☆☆　② イ☆☆
(4)① リデュース☆☆　② ア☆

(1) 学校と図書館から見える山の形は、次のようになります。正しいのはイです。地図を読み取るときは、等高線の間かくに注目しましょう。等高線の間かくがせまいと土地のかたむきが急で、広いとゆるやかです。

学校から



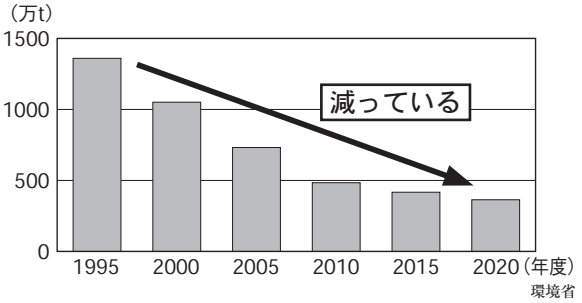

図書館から



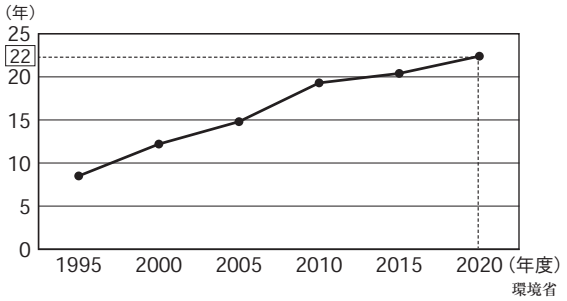

(2) 地図中のAの場所には、▌▌で示されている田が広がっています。田では米作りが行われるので、正しいのはエです。

(3) 全国の処分場にうめ立てたごみとはいの量の変化は資料1のグラフから、全国の処分場がいっぱいになるまでの年数は資料2のグラフから、それぞれ読み取ることができます。

資料1




資料2




(4)① 3Rの取り組みは、ものをくり返し使う「リユース」、ごみそのものを減らす「リデュース」、ごみを資源として再利用する「リサイクル」の3つのことです。なお、3Rに、いらないものを断る「リフューズ」を加えて4R(フォーアール)とよびます。
② 牛乳(ぎゅうにゅう)パックを資源ごみとして回収(かいしゅう)すると、トイレットペーパーなどにリサイクルすることができます。

### 2 都道府県と日本の自然災害

〈解答〉(1)A 宮城(県)☆☆　B 千葉(県)☆☆
C 愛知(県)☆☆
(2)① 地震(じしん)☆☆　② イ☆
(3) 緑(のダム)☆☆
(4) 名古屋(なごや)(市)☆☆

(1) 47都道府県の名前は漢字で書けるようにしておきましょう。地図で都道府県の位置や形を確認(かくにん)しておくことも大切です。
A 仙台七夕まつりが行われる仙台市は、宮城県の県庁所在地です。
B 成田国際空港は、人だけでなく物の輸送にも多く使われています。
C 愛知県の人口は、47都道府県の中では、東京都、神奈川県、大阪府に次いで4番目に多くなっています。

(2) 地震が起こると、強いゆれや津波によって大きなひ害が出ます(①)。日本は自然災害が多い国なので、県や市は、地震やこう水など、災害の種類ごとにハザードマップを作り、ウェブサイトなどで公開しています(②)。なお、2011年に東北地方の太平洋沖で起こった大きな地震と、それにともなう災害を東日本大震災(ひがしにほんだいしんさい)といいます。

(3) 森林が広がる山は、落ち葉やかれ木が積もってできた、スポンジのようになった土でおおわれています。この土が雨水を地中にたくわえて、ゆっくりと川に流す働きをもつので、森林は緑のダムとよばれています。

(4) 都道府県の名前と都道府県庁所在地の名前がちがうところは、全部で18都市あります。特に注意して覚えておきましょう。

## 3 日本の国土と地形・気候

**〈解答〉**(1) **ア**☆☆

(2)① **3**☆☆　② **ア**☆☆

(3)**札幌市　説明文…ウ　特徴的な建物…C**☆☆

**海津市　説明文…イ　特徴的な建物…A**☆☆

**竹富町　説明文…ア　特徴的な建物…B**☆☆

(1) 日本は、赤道の北側(北半球)、かつ0度の経線の東側(東半球)に位置しています。したがって、緯度は北緯、経度は東経になるので、正しいのは**ア**です。

(2)① 問題の図から、山地の割合は100分の73と読み取れるので、日本の国土の約4分の3を山地がしめていることがわかります。

② 奥羽山脈は、東北地方の中央に位置し、東北地方を太平洋側と日本海側に分けています。地図中の**B**は越後山脈、**C**は関東山地、**D**は中国(ちゅうごく)山地です。山脈・山地の名前には、今や昔の地名が使われています。山脈・山地を覚えるときには、地図でその位置を確認しましょう。

(3) 札幌市…1年の中でも特に冬の気温が低いため、まどやげんかんを二重にすることで、寒さに備えています。また、中央が低くなった屋根は、雪に備えたくふうです。屋根に積もった雪がとけると、屋根の中央にあるみぞから外に流すことができます。

海津市…**A**は、海面より低い土地で、かつてこう水に備えて建てられた建物の絵です。地面よりも高い土台の上に家を建てたり、こう水が起こったときにひなんするための小屋(水屋(みずや))を建てたりしていました。

竹富町…**B**は、沖縄県の伝統的な家の絵です。1年を通してあたたかいので、家の風通しをよくするなど、暑さをやわらげるくふうをしています。また、台風の強い風に備えて、かわらをしっくいで固めています。最近は、台風の風に強いコンクリートづくりの家が多くなっています。

## 4 日本の食料生産

**〈解答〉**(1) **農業機械を使うことで、効率(こうりつ)よく作業ができるようになったから。**☆☆☆☆

(2) **黒潮(くろしお)(日本海流)**☆☆

(3) **青森(県)**☆☆

(4) **ウ**☆☆

(5)① **ア**☆☆　② **イ**☆☆

(1) 昔と今の作業の様子を比(くら)べると、現在は大型(おおがた)の農業機械を使って、1人でも作業ができるようになったことが読み取れます。農業機械を使うことで、作業にかかる時間や人手が少なくてすむようになりました。

(2) 岩手県や宮城県の三陸海岸沖では、暖流の黒潮(日本海流)と、寒流の親潮(おやしお)(千島海流)がぶつかります。寒流と暖流がぶつかるところには、魚のえさになるプランクトンが豊富にいます。えさが豊富なところに魚が多く集まるので、良い漁場になっています。

(3) 日本で生産されるりんごの半数以上が青森県で生産されています。りんごはすずしい気候に適した作物です。

(4) **ウ**がまちがった文です。長野県や群馬県では、夏でもすずしい気候を生かして、レタスなどをさいばいしています。このように、その地域の気候を生かした野菜の生産は、日本各地で行われています。例えば、高知県では冬でもあたたかい気候を生かして、秋～春になすを生産しています。

(5) グラフから、日本の食料自給率は約40%であることが読み取れます(①)。日本の食料自給率は100%に達していないので、国内で不足している分の食料は、外国から輸入することで確保しています(②)。